

2024年度入学試験（7月）
大学院デザイン工学研究科

建築学専攻 修士課程
総合2年コース
作品評価型

入学試験問題

[即日設計]

2023年7月1日（土）
13:30～18:30

<解答要領>

1. この問題用紙・敷地図のほかに、計算用紙（A4版）1枚、トレーシングペーパー（A2版）2枚を配付する。
2. トレーシングペーパーには2枚とも、受験番号を記入すること。
3. トレーシングペーパー2枚のうち、1枚は提出図面製作用、1枚はエスキース用とする。（エスキース用は用紙右上に、エスキース用と明記すること）
4. 筆記用具のほか定規・製図板・方眼紙・電卓・メンディングテープは使用可。
テンプレートは、正円・正方形は可、だ円や家具などは不可。
5. 問題、敷地図、トレーシングペーパー2枚を提出すること。

受験番号	
------	--

問 別紙の敷地図を参照し、設計案を作成せよ。

敷地は都心の駅から徒歩数分の住宅街の一角に位置する。周囲は戸建て住宅から集合住宅や小さな店舗付共同住宅などが点在している。

敷地は交差点の角地であり、南側と西側が道路に面している。北側と東側の隣地には二階建ての住宅が建つ。

課題のテーマは「地下スタジオのある家」である。

高密度に住宅が立ち並ぶ都市において、自然の豊かさを獲得することと、プライベートである私的空間を確保することとの両立を目指すことが重要である。

一日の時間の流れや季節の移ろい、家族構成の変化などを考慮し提案を行うこと。

また、地下スタジオ（ここでは地階の床が地盤面よりも下にあり、地階の床から地盤面までの高さが地階の天井高の 1/3 以上の居室を定義する）を配置すること。

家族構成や職業については自ら設定を行うこと。

住居、ワークスペース以外の用途を追加することは自由とする。（住居以外のワークスペースやその他の用途の面積は居住面積以下とすること）

評価基準は、1：コンセプト、2：空間、3：計画の三項目を基準とする。

敷地面積：188 m²

用途地域：第1種低層住居専用地域

建蔽率：60%

容積率：100%

防火地域：準防火地域

その他地区：第1種高度地区

その他：高さ制限 10m

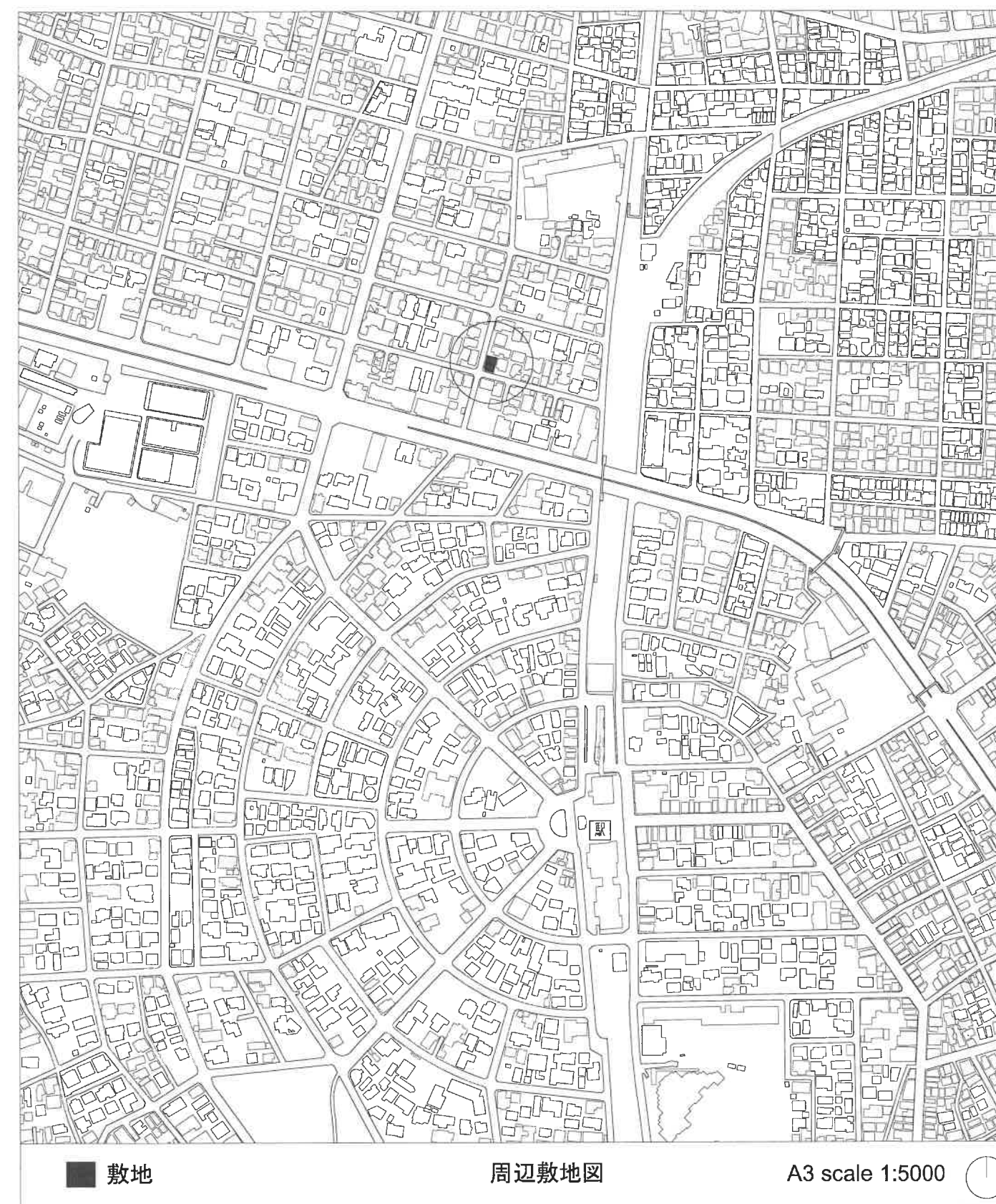
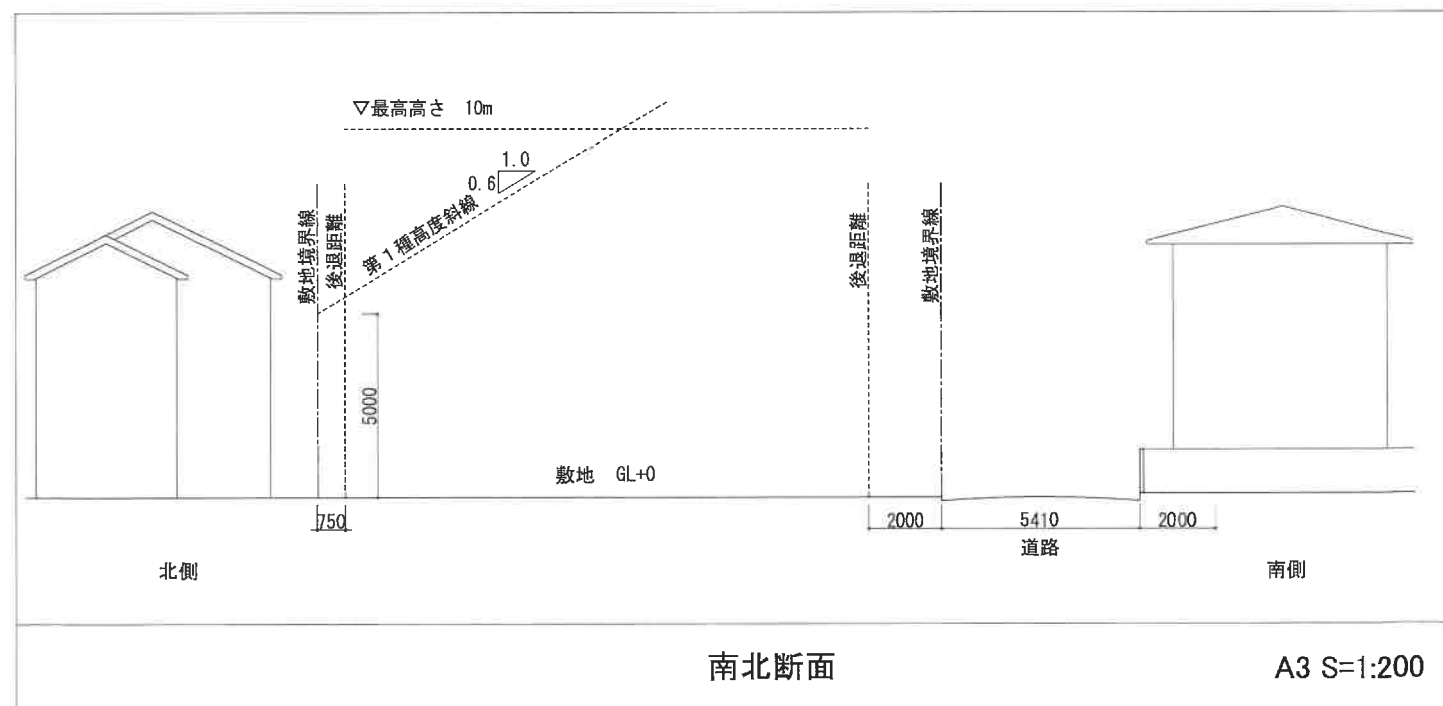
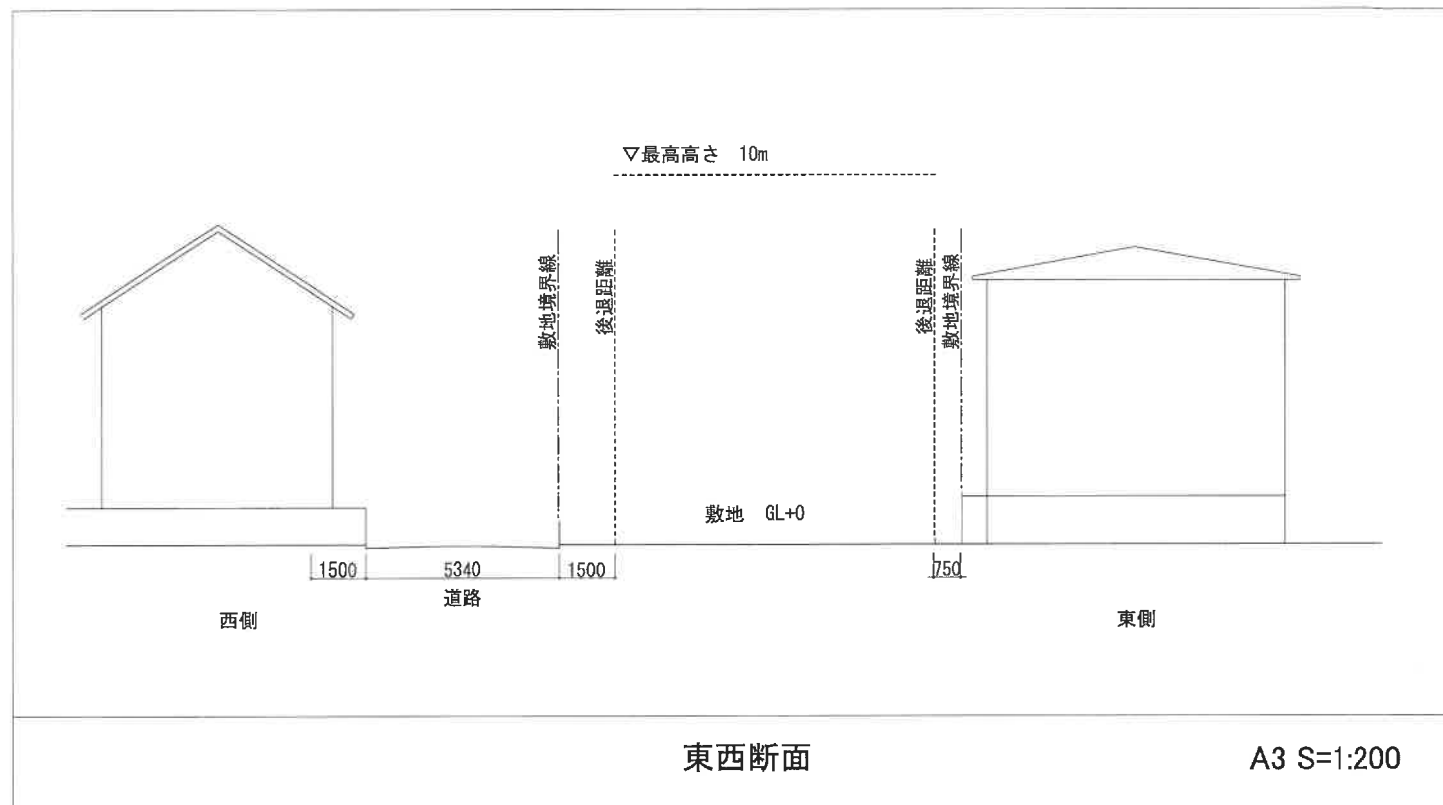
【提出図面】 以下の図面を図面中にレイアウトして表現すること。他の図面を加えてもよい。

- ・配置図（縮尺 1/100）：ただし、1階平面図で兼ねてもよい。
- ・平面図（縮尺 1/100 または 1/50）：各階平面図
- ・断面図（縮尺 1/100 または 1/50）：1面以上
- ・イメージスケッチ（縮尺自由）：外観、内観各一枚以上

【その他、注意事項】

- ・注1）コンセプト、家族構成、職業、プログラム内容、空間構成ダイアグラムなどを図面中に記すこと。

- ・ 注2) 作図はフリーハンドでも可だが、縮尺は守ること。
- ・ 注3) 筆記用具類は色鉛筆など使用自由。着彩可。
- ・ 注4) エスキース用の図面、提出用の図面の両方に受験番号を記すこと。また、2枚とも提出すること。
- ・ 注5) 後退距離ライン、道路斜線、北側斜線より外側に建築を行わないこと。



断面条件・周辺敷地図

